

授業科目	*在宅看護学				単位	2		
履修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU21401J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-2			
担当教員	石井 美紀代、吉原 悦子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>実務家教員として、病院看護師または市町村保健師での看護活動の経験をふまえ、在宅療養をする人とその家族の自立とQOL向上を目指した看護を実践するための基礎知識を講義する。内容は、在宅看護が必要とされる背景、継続看護、在宅看護の目的と機能・役割を解説する。また、在宅療養者の多様性を理解した上で、在宅ケア・在宅看護が効果的に展開されるために必要なネットワーク、マネジメント、連携・協働について学ぶ。さらに、医療・看護を取り巻く社会の変化に伴い、国の推進する地域包括ケアにおいて、看護に期待されている役割を考える。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 在宅ケア・在宅看護にかかわる施策・制度を説明できる。</li> <li>2. 継続医療・継続看護について説明できる。</li> <li>3. ケアマネジメントの必要性と方法を説明できる。</li> <li>4. 療養者と家族を支えるために多職種・多機関と連携する必要性と方法を説明できる。</li> <li>5. 在宅療養者の多様性を理解できる。</li> <li>6. 在宅療養に対して安全・安楽・自立を実践する看護の機能を説明できる。</li> <li>7. 在宅看護における危機管理の内容と方法を説明できる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	30						30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	30				15		45	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)	10				15		25	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<p>標準的なレベルの知識、思考、関心、態度を修得した上で、これらをより詳細に表現できる。具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療・保健・福祉分野の公的なサービスの限界を述べられる。</li> <li>2. 在宅ケア、在宅介護に関する社会問題を調べ、自分なりの意見がもてる</li> </ol>				<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 在宅ケア・在宅看護にかかわる施策・制度を説明できる。</li> <li>2. 継続医療・継続看護について説明できる。</li> <li>3. ケアマネジメントの必要性と方法を説明できる。</li> <li>4. 療養者と家族を支えるために多職種・多機関と連携する必要性と方法を説明できる。</li> <li>5. 在宅療養者の多様性を理解できる。</li> <li>6. 在宅療養に対して安全・安楽・自立を実践する看護の機能を説明できる。</li> <li>7. 在宅看護における危機管理の内容と方法を説明できる。</li> </ol>				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:在宅看護の社会的背景と在宅看護の基盤(石井・吉原) 在宅看護の背景 /在宅看護の基盤 / 基本理念(1章)	講義	予習:教科書の該当箇所を読む 復習:講義内容の復習	60
2	テーマ:在宅療養を支える制度(石井・吉原) ・医療保険/介護保険/障害者・児童・高齢者福祉制度(4章)	講義	予習:教科書の該当箇所を読む 復習:講義内容の復習	60
3	テーマ:訪問看護の制度(石井・吉原) ・訪問看護ステーションの開設基準(5章) ・訪問看護の対象と保険の種類(4章)	講義	予習:教科書の該当箇所を読む 復習:講義内容の復習	60
4	テーマ:在宅看護の対象者(石井・吉原) ・訪問看護の対象の捉え方(2章)	講義	予習:教科書の該当箇所を読む 復習:講義内容の復習	60
5	テーマ:在宅療養の成立要件と家族支援(石井・吉原) ・在宅看護の対象・成立要件(2章) ・在宅療養者の家族への支援(2章)	講義	予習:教科書の該当箇所を読む 復習:講義内容の復習	60
6	テーマ:慢性疾患療養者を支えるシステム(石井・吉原) ・慢性疾患管理 ・生活不活発病予防	講義	予習:慢性疾患の病理を復習しておく 復習:講義内容の復習	60
7	テーマ:療養の場の移行に伴う看護(吉原・石井) ・継続医療/継続看護/入退院支援(3章)	講義	予習:教科書の該当箇所を読む 復習:講義内容の復習	60
8	テーマ:在宅ケアにおける多職種連携(吉原・石井) ・サービス提供機関 / 地域包括支援センター/専門職以外の人々(3章)	講義	予習:教科書の該当箇所を読む 復習:講義内容の復習	60
9	テーマ:在宅療養におけるケアマネジメント(石井・吉原) ・ケアマネジャーの業務 ・ケースマネジメント/ケアマネジメント(3章)	講義	予習:教科書の該当箇所を読む 復習:講義内容の復習	60
10	テーマ:在宅看護における危機管理(石井・吉原) ・在宅医療におけるリスクの特徴 ・災害に備える危機管理(6章)	講義	予習:教科書の該当箇所を読む 復習:講義内容の復習	60
11	テーマ:日常生活における安全管理(石井・吉原) ・家庭内起きる事故とその予防(6章)	講義	予習:教科書の該当箇所を読む 復習:講義内容の復習	60
12	テーマ:在宅看護における療養指導(石井・吉原) 在宅における患者指導	講義	予習:教科書の該当箇所を読む 復習:講義内容の復習	60
13	テーマ:在宅療養を必要とする小児の看護(石井・吉原) ・医療的ケア児の現状 ・小児の在宅療養支援	講義	予習:小児の発達(0歳~15歳)を憶える 復習:講義内容の復習	60
14	テーマ:在宅での終末期ケアと看取り(石井・吉原) ・人生会議(アドバンスケアプランニング) ・在宅医療と看取り	講義	予習:「ターミナル」の定義をまとめる 復習:講義内容の復習	60
15	在宅看護の展望(石井・吉原) ・先駆的な取り組み(8章)	講義	予習:第8章を読む	

16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	在宅看護を考えるには、基礎看護学、小児看護学、母性看護学、成人看護学、老年看護学、精神看護学での、既習の知識と技術が必要です。必要な知識を振り返りましょう。			
テキスト	地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア(メディカ出版)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中に紹介する			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	在宅看護学の対象は、全ライフステージです。また、療養者のご自宅や環境に合わせた看護を考えます。そのため、基礎看護学や各看護学で学んだ内容が基盤です。考えること手間を惜しまないで受講してください。※授業の進行によっては、講義の順番を入れかえることがあります。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	試験・レポートの内容については、授業中に指示します。			

